

平成30年度

東大和市地域福祉審議会会議録

第1回 地域福祉部会

東大和市福祉部

○事務局（嶋田福祉推進課長）

それでは、次第に沿いまして会議のほうを進めさせていただきます。

まず、最初に、議題1「部会長の選出について」でございますが、部会長の選出につきましては、東大和市地域福祉審議会条例第8条の規定によりまして部会員の互選によることとなっております。なお、慣例によりまして地域福祉審議会の会長、副会長、この部会につきましては、先ほどご欠席のA委員さんが会長の職になっておりますが、会長、副会長は部会長には選出しないことというふうに慣例でなっております。

皆様、部会長の選出についてはいかがいたしましょうか。

B委員、お願いします。

○B委員 前回、部会長をされたC委員に引き続きお願いをしたいと思っております。

○事務局（嶋田福祉推進課長） ただいまB委員さんのほうから部会長にC委員さんをとということのご発言がございましたが、ほかの委員さんいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○事務局（嶋田福祉推進課長） よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、異議なしとのお言葉をいただきましたので、部会長はC委員さんのほうにお願いしたいと思います。

それでは、部会長の席にお越しいただきまして、お願いいたします。

部会長、まずご挨拶のほうから。

○C部会長 皆さん、こんばんは。

ただいま部会長に選任されましたCでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年もあと2カ月、もう忙しい時期に、皆さん、お参加いただきまして、ありがとうございます。じゃ、今日は会議、どうぞよろしくお願ひします。

○事務局（嶋田福祉推進課長） C部会長、ありがとうございます。

それでは、部会長が決まりましたので、これ以降の議事進行につきましては、C部会長にお願いしたいと思います。

それでは、部会長、よろしくお願ひいたします。

○C部会長 それでは、これより議事進行を私のほうで進めさせていただきます。議事が円滑に進行しますよう、皆様のご協力をよろしくお願ひします。

では、議事2の「第五次東大和市地域福祉計画平成29年度実施状況調査表」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（武村庶務係長） 皆さん、こんばんは。福祉推進課の武村でございます。

それでは、議題の2「実施状況調査報告について」、私のほうから説明をさせていただきます。

座らせていただいて説明のほうを差し上げさせていただきます。

それでは、事前に配付しております資料「平成29年度実施状況調査報告書」をまずお手元にご用意ください。

こちらで報告いたしますのは、昨年度に引き続きまして第五次地域福祉計画の平成29年度の実施状況についての報告となります。ちょっとお手数ですが、計画の冊子のほうもお手元、見ていただきます。

計画の概略と各課の取り組みを簡単にご説明をさせていただきます。あと計画冊子でございますが、25ページをお開きください。

こちらには、「第五次地域福祉計画の体系図」が掲載されております。この中で、昨年に引き続きまして1から4まで「施策の基本方針」が掲載されております。

実施状況報告でご審議いただくのは、こちらの左側でございます番号でございます、1から4の項目となります。

続きまして、27ページをお開きください。

こちらのページから施策の基本方針における取組項目を具体的に掲げております。これらの取組項目につきまして、関連する各課がそれぞれの主な取組状況を検証し、平成29年度の実施状況につきまして各課が評価を行い、評価の理由を示したものが、事前にお配りさせていただいております資料の「平成29年度実施状況調査報告書」になります。

まず、計画冊子の27ページから29ページまでが、「1 形成基盤の整備に関する取組」でございます。次に、30ページから31ページが、「2 自主活動の支援に関する取組」でございます。次に、32ページから35ページまでが、「3 福祉の環境づくりの推進に関する取組」でございます。最後に、36ページから37ページが、「4 福祉のまちづくりの推進に関する取組」でございます。こちらまでがご審議いただく内容でございます。

続きまして、平成29年度の実施状況調査報告書について、1ページ目の「平成29年度の事業評価集計表」をお開きください。

評価の数字の説明でございますが、この地域福祉計画は、平成27年度から32年度までを計画期間としてございます。このため平成32年度を目標の達成期間としています。評価の指標である評価結果につきましては、評価3は、平成29年度の実施状況について「順調」としております。評価2は、平成29年度の実施状況について「おおむね順調」としております。評価1は、平成29年度の実施状況について「着手」としております。

なお、今回の実施事業報告で特に特記する点、こちら3点ございます。

まず、総合福祉センターの関係事業につきましては、総合福祉センター「は～とふる」が平成28年度の10月に開設となったことから、これらに関する開設準備のための事業としましては平成28年度に完了となっております。このため平成29年度事業としての調査としては対象外とさせていただいております。具体的には、実施状況報告書の5ペー

ジをお開きください。こちら5ページの部分がこちらに関係するものでございまして、今回全て調査の該当なしということで出させていただいております。

次に、ボランティアセンターの記載でございます。こちら8ページ目をお開きください。ページの中ほどに「ボランティアの活動の推進」2-(2)というのがあると思いますが、こちらが、①「社会福祉協議会が実施するボランティア活動等を支援していきます。」が福祉推進課の担当課とさせていただいております。同じく②「ボランティア活動を希望する方に情報を提供することで活動を支援していきます。」というものが市民生活課の担当課となっているところがございますが、実は、一括して平成28年度からこちら市民生活課が担当課に変更となっていくものであることから、実施状況や評価の理由をいくくりまとめさせていただいております。本来は中間見直しの時点で、市民生活課で一括で担当課に変更になっていたということで、取り組み内容の見直しについて見直しをすればよかったものでございますが、中間見直しでは少しこちら直すことができませんでした。このため今回の実施状況調査からこのような報告の形で対応をとらせていただきたいと思いますと考えております。

なお、市民生活課は、こちら括弧でございますように、課名変更で地域振興課と現在なっております。

最後に、当日最後の資料となってしまいますが、お手元に1枚差しかえということで、実施状況調査報告書の3ページと4ページの部分があると思います。こちら大変申しわけございません。ちょっと誤植が、皆様に送らせていただいてから見つかったものでございます。具体的には、3ページ目の「コミュニティづくりの推進 1-(1)の①」の部分、こちらと、あと4ページ目の「地域の見守り・支援ネットの構築 1-(3)のこちら②」、一番下の部分でございますが、どちらも前年度の数字が入ったままでございましたので、本日お手元に、大変お手数をおかけしますが、訂正済みのもの、こちら今年度の数値を入れたものを置かせていただいております。こちらのほうの差しかえをよろしくお願いいたします。

それでは、集計表の1ページ目にお戻りいただきまして、こちらの合計欄をご覧いただきたいと思っております。

事業数に対しまして評価数が大変多くなってございますが、これは、昨年度もご説明したとおり、1つの事業につきまして複数の課からそれぞれ関連する事業を行っていることでございます。

評価の内訳でございますが、全体では評価3が3事業、評価2が52事業となっております。全ての項目で評価2以上であることから、平成30年度の目標に向け、ほぼ全体としましては順調に進んでいることが、お示しすることができると思っております。一部の事業で昨年度の評価3から2に下げている事業がありますが、これは主管課で進捗状況の見直しを行ったことでこのようになっております。

第五次地域福祉計画は、平成30年度で6年間の計画期間の折り返しとなります。今回の実施状況調査報告は、ちょうど計画のこちらで半分が終了したことになります。昨年度、計画の中間見直しを行い、計画内容の見直しを図ったところでございますが、今後の平成30年度から32年度までの計画の実施は、これまでの平成27年度から30年度までの取組実施の内容を今一度振り返り、進捗状況の見直しを各課で行っているところでございます。計画終了の平成32年度までの計画内容の実施の完遂へ向けて各課で鋭意取り組んでいるところでございまして、このようなことから一部の評価で3から2に下げている項目がございます。

第五次地域福祉計画平成29年度実施状況報告書につきましては、以上でございます。よろしく願いいたします。

OC部会長 どうもありがとうございます。

それでは、第五次東大和市地域福祉計画平成29年度実施状況調査報告につきまして事務局から説明が終わりました。こちらにつきまして皆様のご意見やご質問等につきましてお伺いしたいと思います。

なお、発言に当たりまして冒頭にお名前をおっしゃっていただくようお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

OD委員 公募のD、よろしいですか。

OC部会長 Dさん、お願いします。

OD委員 質問というか、ちょっと事前に見ていて気になったんですが、9ページの福祉推進課で「社会福祉協議会への支援」2-(4)、「シルバー人材センターへの支援」2-(5)で、補助金交付云々という説明があるんですが、社協への補助金は約4,000万、職員5名の人件費、シルバー人材センターのほうは人件費及び通信運搬費の事業費に対し補助金云々ということで、社協は職員5名の人件費、そこを読むと人件費だけ、だから1人800万くらいの補助をしている。人材センターのほうは人件費、通信費、運搬費等も含めて補助していると、そのまま言えばそうなる。それで間違いないのか、それともそのシルバー人材センターのほうは人件費、通信費ほかの、人件費以外も補助しているということで間違いないのか、社協は文字どおり、社協自体の収入もあるんでしょうから、職員5名の人件費だけの補助になっている、この説明どおりで間違いないのかということ念のため再度聞きたい。

あと4ページに福祉推進課で社会福祉協議会の事業に対して補助金の交付を行ったというのと、この今の人件費の補助と、これは同じことを指しているのか、別のことを指しているのかというその関係性も知りたいということなんですけれども。

OC部会長 わかりました。じゃ、事務局お願いします。

○事務局（武村庶務係長） まず、ご質問にございました9ページの社会福祉協議会の補助金でございますが、こちらは確かに記載のとおり人件費としては5名分の補助金のほうを交付しております。

続きまして、下のシルバー人材センターの支援でございますが、こちらはこちら記載とおり人件費及びシルバー人材センターのほうには通信運搬費等のその他庶務的に経費についても補助金を交付しております。

4ページに戻りまして、福祉推進課のこちら、社会福祉協議会への補助金でございますが、こちら確かに、こちら補助金としてはございますが、こちらは主に「見守り・声かけ活動」ですとか「ふれあいなごやかサロン」、そちらに関する事業のための補助金として立て、こちらのほうは人件費とは別立てで補助金しております。ちょっと同じ補助金がかぶってしまっているところがあるんですが、補助金としては、人件費がこちら9ページにある補助金と、あと4ページにある補助金、どちらも交付しております。

○D委員 人件費とは別にあるということですか。

○事務局（武村庶務係長） そうでございます。

○D委員 シルバー人材センターのほうは人件費と通信運搬費も補助している。補助して、恐らく全体で3,700万あると、社協は人件費も4,000万の金がかかって、それぞれに別途あって、補助金自体はそれぞれの機関でしっかりよくあれされているんでしょうけれども……。

わかりました。

○C部会長 よろしいでしょうか。

ご質問、ご意見がほかになれば、次の議題に移りたいと思いますが、いかがでしょうか。

○D委員 それでは、もう一つ。

○C部会長 もう一つ、どうぞ、山本さん。

○D委員 前回とか28年の評価で3にしておいて今回2にしたというのは、中央公民館の都合とか高齢介護課の市民参加できる講演会等で評価を2にされているんですけども、実行セクションでまだ2だということであれば、それはそれでよく検討されて2にされたんだろうと思うんですが、ややちょっとというか、むしろ前回の評価の3が正確に言ったらちょっと甘かったということですかね。ちょっと比べてみると同じような活動でというか、むしろ確か高齢介護プラン、ケアラズカフェか何かは、今回も多くなっていたような気もするんですけども、厳しく評価されるものはいいんですけども、ケアラズカフェは、ここは高齢介護課、市民参加できる講演会、例えばケアラズカフェは前回3で、その間事業は6回開催、今回は12回開催で評価をされたという、きちんと厳しく自己査定されるのはいいんですけども、逆に言えば、前回の評価が自己査定で甘かったというようなことのような気もしますし、過ぎ去ったことですから格別どうといったことではな

いんでしょうけれども、これを機会にきちんと評価していただければと思います。

○C部会長 よろしいでございますか。

事務局お願いします。

○事務局（武村庶務係長） 事務局の武村でございます。

今、D委員からご指摘のあったとおり、10ページ目、こちらの実施状況にある10ページの高齢介護のケアラズカフェ、今度こちらにつきましては、こちら⑤「障害者や高齢者に対する市民の相互理解・相互交流を深めるため、福祉施設等が行う各種行事への市民参加の機会の拡充に努めます。」の高齢介護課分ですが、こちら確かに平成28年度実施報告では評価3であったとでございますが、こちら毎年度、特に前年度の地域福祉審議会のご意見等を各課に流しまして、その上でもう一度、各課の実施状況の評価というの見直しを常に行っております。

具体的には、こちら目標が協力機関76カ所に拡大等、あと会議体等への参加数759回に増加というような一番右側にあるのですが、高齢介護課にこちらを聞きましたら、まだその②のほうの759回に到達はまだ達成が難しいということだったので、ただこちら目標に達していないということで、こちら今回2のほうにしているということで調整のほうはさせていただいております。

基本的には各課で事業評価の見直しを行っております。そのような関係で、今年度こちら高齢介護課分は前年度3だったんですが2ということに評価のほうになっております。

以上でございます。

○C部会長 ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

じゃ、ないようでしたら次の議題に移りたいと思います。

議事「その他」につきましてですが、事務局から何かあればお願いいたします。

○事務局（武村庶務係長） 事務局の武村でございます。

事務局から連絡事項が2点ございます。

まず、1点目は、本日、議場にて配付いたしております資料についてでございます。

本年度の第1回全体会でお話ししました、東京都が平成30年度に新しく策定を行いました「東京都地域福祉支援計画」の写しを皆様に本日、当日資料としてご配付しております。こちらは参考資料としてご配付をしております。なお、平成33年度から新しく改定となります第六次の地域福祉計画につきましては、この新しく策定となった東京都の地域福祉支援計画に基づき策定する運びとなります。

2点目でございます。今後のスケジュールについてでございます。

第2回の地域福祉審議会の全体会につきましては、平成31年の1月の下旬から2月の上旬に開催したいと予定を考えております。時間は午後7時からを予定しております。委員の皆様には、第2回全体会開催のためのご予定をお伺いするため、日程の調整表を今後

郵送にて11月の中旬ごろにお配りしたいと考えております。そちらの表に皆様のご都合を記入していただき事務局まで返信をお願いいたします。

なお、第2回全体会におきましては、本日の審議内容に基づきまして部会長から全体会までご報告いただくとともに、各部会の審議報告を受けた内容に基づきまして答申案、こちら全体会の答申案今年度分をお示しさせていただき、ご審議をいただく予定でございます。

以上でございます。

OC部会長 ありがとうございます。

それでは、他に何かございませんでしょうか。

はい。

OB委員 Bです。

これちょっと言おうと思っただけなんですけれども、うちのほう社会福祉協議会は結構、市からお金をいただいているいろんな事業をやっているんですけれども、ちょっとこれはうちのほうにもあったんでここには出てないんですけれども、例えばふれあいなごやかサロンなんかも昔でいう井戸端会議が発展したんで、最近ではもう子供連中の母親だけが集まったそういう会議とかそういうものもありますんで、そういうところに支援をして、うちの職員も行って支援をしております。

それから、自治会の関係については、ここでは余り出てませんけれども、防災という視点から、福祉の視点から、じゃ、例えば車椅子とか、例えば障害者の方がどういうふうに避難したらいいかと、実際に自治会と連携して現地で活動しています。

あとボランティア活動ですけれども、ボランティアについては、今二十何団体できているんですよ。で、場合によっては施設から呼ばればそちらに派遣をお願いしたり、最近では傾聴という人の話を聞いてあげるボランティアで、こういう人たちが今20人ぐらい登録されているんですけれども、そういう人たちの要するにレベルアップのための研修を今年5月から今月にかけて5回ぐらい、6回かな、専門家です。そういうのをやっていますんで、何かの機会に何か、うちも報告書を出しますんで、何かの機会にちょっと言っていただければ皆さんにご理解いただけるのではないかと。

それ以外にも結構、自治会とはもう密接に関係して、何か会議があればうちの職員もいろいろ結構、夜行って、いろいろな話をさせていただいています。

ここに出てないのに申しわけないんですけれども、そんなことをやっていますので。

OD委員 何か演題まできちっと書いてある項目があったり、さっきの民生委員さんであったと思いますが。

OB委員 もちろんうちのほう、民生委員さんと連携してやっていますけれども。

OD委員 単に見学はあえて表示しないところがあったり、何かちょっとバランスが悪いなと思ったわけです。

○B委員 さっき言ったように、うちも職員が、正規の職員が14人いるんですよ、正規の職員が。

○D委員 職員何名というのは、例えば市役所の出向の人がいるんですか。

○B委員 いや、出向は今いないんです。

○D委員 ああ、いないんですか。

○B委員 やめた人が2人ばかりいて、あとはプロパーです。うちのほうで採用した職員になります。そういう人たちに対して5万円分だけもらって、それ以外は事業をすることによってお金をいただいて人件費が出るようになっていきます。あとは一部自主財源、多少収入もありますので、その部分は自主財源を使ってやっている部分もあります。ちょっと書けないんですよ。

○D委員 シルバーなんかも自分の収入もあって、なおかつ大概のところを市役所の補助金で、補填でやっているという感じ、多分それはまたそういうお金は……。

○B委員 それはうちのほうもうちのほうで、また決算報告出しています。よろしければどうぞいつでも。

○D委員 市の会計専門に何か調査しているボランティアだか何だかあるようですけども。

○B委員 もちろんうちのほうも毎年のように市から監査を受けていますので、何年か一遍、議員さんもお見えになって監査を受けていますので。

○C部会長 ありがとうございます。

特にございませんでしょうか。

(「はい」の声あり)

○C部会長 なければ、本日予定されました議事全てが終了しましたので、以上をもちまして地域福祉会を閉会させていただきます。

お疲れさまでございました。ありがとうございます。